



○学校教育目標 : ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
○めざす学校の姿 : 美しい学校(美しい心の育成&美しい環境の整備)
○めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気です!



チョウから学ぶ「いのちのバトン」

今年も「旅するチョウ アサギマダラ」が、常盤小学校に飛来しています。アサギマダラは、春に南の地から北上し、秋は、逆に寒冷地から南の暖かいところを目指して旅をします。2000km 旅をするチョウもいるそうで、その途中に、宇部市周辺に立ち寄るのです。寿命は約半年なので、次の春に北上してくるチョウは、卵からかえった子どもたちです。親から受け継いだ命をつなぎ、同じルートを旅するわけです。



体育館前の花壇で、午前10時頃
見ることができます。

この奇跡とも思える生命の連鎖について、子どもたちに知ってもらおうと、常盤小学校では、2年前からアサギマダラの好きな花であるフジバカマを植えています。その活動の中心となっているのが、地域在住の山根好子様で、多くの方々を巻き込んで、学校の支援をしてくださっています。実際に、3年生は、出前授業により、生態について詳しく教えていただきました。



この看板は、学校運営協議会の野村会長が設置してくださいました。

さらに、今年は、園芸委員会が毎日観察記録をとるとともに、職員室前にシールを設置することにより、全校児童がアサギマダラへの関心が高まるようにしかけています。おかげで、毎日たくさんのシールが貼られ、学校は「アサギマダラを見た」という児童の声で溢れています。

今後も、たくさんのアサギマダラが常盤小学校に立ち寄ることができるような環境を整え、「いのちのバトン」をつなぐ旅のお手伝いをしていきたいと考えています。

※ 10月16日の宇部日報に、本校で実施したアサギマダラ学習会の様子が掲載されました。記事については、本校のホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

秋の花壇コンクールは中止となりましたが...

宇部市の第118回花壇コンクールが台風の影響で中止になり、常盤小学校の花壇も塩害の被害を受けました。

しかし、担当教員や園芸委員会の児童中心に手入れを続けた結果、美しい花壇は健在です。コンクールは中止となりましたが、「美しい学校」をめざす常盤小学校の花壇には、生命が咲き続けています。

